

本日 10 月 18 日は靖国神社秋季例大祭（當日祭）と千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭が斎行され、大東亜慰霊協の理事長として、この両者に参列させて貰った。

1 秋季例大祭

午前中に齋行、勅使が差遣され、各宮家からも玉串料が献進された由。
新たに二柱の御祭神が本殿正床に遷された由。



昨年同様、コロナ禍のため、参列者を限定しての例大祭ではあったが、何時もの通り、清浄な雰囲気の中、厳粛に執行され、今日のわが国の平和と繁栄が、国家のために尊い一命を捧げられた数多の戦没者のお陰であることに思いを致し、感謝と尊崇の念を更に強くした次第である。

神社の神域には、世間の喧騒とは違う独特の清浄さがあり、ひっきりなしに訪れる老若男女に色々なことを問いかける。

2 秋季慰霊祭

靖国神社例大祭とは違い、無宗教形式で斎行された。秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御参列、献茶の儀、昭和天皇と上皇陛下の御製奉唱、音羽ゆりかご会による澄んだ歌声による童謡唱歌奉唱（海行かば、里の秋、蜜柑の花咲く頃）、陸海空自衛隊混成小隊による部隊拝礼等が行われた。国会開会中でもあり、首相や関係大臣、各政党代表も殆ど代理（国民民主党の玉木代表は参列）であったのが寂しかった。小生も献花させて貰った。



本慰霊祭を東京都隊友会の諸氏数十名が支援していた。感謝である。

3 所感

- (1) 戦没者に対する尊崇と感謝の念をもっと広く共有できないものかと残念でならない。
- (2) 未だ帰還できぬ 112 万余の戦没者の帰還に政府は、リップサービスではなく本気で立ち向かうべきだ。
- (3) 靖国神社への天皇皇后の行啓行を望み、政治家の参拝を切望する。
- (4) 国家の追悼施設としては靖国神社以外にはないと信じるのだが、如何せん政治問題化を虎視眈々と狙っている輩がいる。

(了)